

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス プレミアム 原		公表日		令和8年 3月 31日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		児童指導員を含めた規定以上の職員を配置している。	児童指導員や常勤の強度行動障がい資格取得者を配置ししっかり支援していける環境を継続していきたい。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		生活空間(プレイルーム)では当日の日付や一日のスケジュールを明確に提示している。また手すりや広さ、つかまり棒、点字ブロックなど設けている。	広さや手すりなど配慮しているが活用されていない部分があるためしっかり活用していきたい。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		定期的に清掃を行い、白壁で刺激が少ないよう配慮されている。また粗大、机上、集団、個別活動が出来るよう整っている。	自ら個別活動に取り組めるよう道具棚が用意しているが、十分に活用出来ていないため、時間使用頻度を高めていきたい。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		個別部屋を子どもの個別対応やクールダウンなど必要に応じ使用することが出来ている。	引き続き使用しつつ、活用アイデアを出して稼働頻度を高めていきたい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		○		ミーティングを行い、全員参加している。一日の流れを打合せ、振り返りをして日々の業務改善に繋げている。	長期休みの際は短時間となり要点を絞った打ち合わせになるが、短時間でも内容の濃い打合せを意識し継続していきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		無記名、切手を貼った返信封筒を同封するなど意見が記載しやすいように配慮している。	直接案内を手渡し、ご意見等の記載を丁寧に依頼しているが、全員の回収が出来ていないことが今後の課題。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		ミーティング時での意見や定期的実施される職員個人面談での意見を把握し業務改善に繋げている	個人面談を引き続き行い、職員の意見把握と業務改善に努めたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	役職者が評価結果を確認し、保護者の意向など改善がある場合には改善に努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		年間スケジュールを立てて毎月内部研修を実施している。また、定期的に外部の方を招き実施している。	職員の技量に合わせた段階的な研修も今後検討していきたい。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		保護者に配布し、HPに公開している。また、玄関口に掲示している。	まだまだ、認知が低いため、告知する機会を増やす工夫をしていきたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○		担当者会議や送迎時での保護者との対話にてアセスメントやニーズを拾い上げ個別支援計画書を作成している。	引き続き情報を拾い上げ情報共有、分析した上で支援計画書に落とし込みたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		職員を交えてこどもの課題や日々の様子を話し合い、こどもの支援に関わる共通理解をした上で計画書を作成している。	時間を捻出する工夫を引き続き行っていきたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○		個別支援計画書を基に毎日の個別支援記録面に個人目標を明記して支援の情報共有を図っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		個別支援記録にて日々の行動観察を記録している。	記録内容をより細かく記載できるように努めていきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		個別支援計画内ではが5領域を含んだ項目の目標を設定している。また、具体的にどのように支援を行っていくのか職員でミーティングをしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		毎月の活動、献立内容を複数の指導員で立案している。	チーム全員の立案会議時間を作りたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○		毎月の活動、献立内容に季節の催しを入れ偏りが無いよう工夫している。	季節の催しや新規の内容の比率を増やしていきたい。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動と個別活動を組み合わせを盛り込んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日のミーティング時に活動内容や役割分担や職員の配置を確認し支援している。	土、日、祝日の打合せ時間を十分に確保していきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日のミーティング時に、前日の振り返りを行い共有している。現状の課題を見出し改善案に繋げている	休みの職員についての情報共有が希薄であるため、出勤時での情報共有を徹底していきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用者個々に支援記録を残し検証・改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングし、個別支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		「自立支援と日常～活動」、「創作活動」、「地域交流の提供」、「余暇の提供(遊び、体験)」を組み合わせている。	地域交流の割合を今以上に増やしていきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		絵カードやO×カードの使用、指差し等の促し等自己決定できるよう工夫している。	絵カードの種類をより広く用意し充実していきたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者または、これに準ずる者が参加している。	左記に準ずる者を増やしていきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		連携医療機関を設けている。また、子どもの主治医などの連絡先を保護者から情報提供してもらっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		毎月の学校行事予定より下校時間の確認している。また、保護者様からの送迎時刻の希望を連絡帳やメールにて確認をしている。	引き続き情報共有に努めていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		当事業所では中・高校生が多く直接の情報交換は行っていない。今後、新入生が通所する場合は情報共有に努めたい。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		意向される事業所の方と保護者様での会議を開いている。また、保護者様の許可のもと情報を移行事業所へ提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		外部の障がい者行動支援研修(強度行動障がいの理解と支援を考える会)に参加している。	外部研修の参加頻度を多くしていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		他のこどもとの交流機会は行っていない。	今後、地域交流を含め積極的に参加していきたい。
	33	(自立支援)協会等へ積極的に参加しているか。	○		行っていない。	今後、検討していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳、メールにて子どもの状況をお伝えし、発達状況や課題の共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご家庭の悩みに相談を受ける際には真摯に対応しているが、研修等の機会の案内は行っていない。	今後、検討していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントシートを基にご家庭のニーズに合わせて作成している。また、担当者会議にて定期的に家庭の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画案や書を作成し、保護者様に説明して同意を得ている。	引き続き、しっかり説明をしていきたい。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		担当者会議や送迎時に相談を受け、適宜に行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	本年度は保護者会を行っていない。	来年度は行っていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情窓口を設置し、苦情対応報告書を作成し記録を残している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、事業所の新聞を作成し、行事、活動予定を掲載し紙面に配布している。	今以上にHPやSNSを活ようしていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きのキャビネットを使用し、デジタル情報の取り扱いにも十分留意している。また個人情報研修も行っている。	引き続き、個人情報の取り扱いに留意していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		障がいの配慮を念頭に保護者やこどもと意思疎通や情報伝達を行っている。	引き続き、配慮した情報伝達に努めたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		事業所の行事に地域の事業者を招き協働共同活動を行った。	地域の方をお招きする機会を今以上に増やしていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		諸マニュアルを作成し定期的に研修・訓練を行っている。マニュアルはファイリングし研修に役立てている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月1回こどもたちと避難訓練をおこなっている。業務継続計画（BCP）を作成し定期的に避難訓練をおこなっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントシートや保護者様からの情報提供によりこどもの状況を確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーについて医師の指示書を保護者様から情報を得て職員間で共有している。また、キッチンに掲示している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し定期的に研修を行って職員間で共有している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		こどもの安全確保に関し、保護者様との連絡がとれる体制を整えている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを基に事例検討会を行い、情報共有を職員間で行っている。	迅速に行い、再発防止に努めたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置や研修を行い虐待防止を行っている。	引き続き、研修を通じ職員間の意識を高めたい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		障がい特性をもとに、職員間で共有している。また事前に保護者様に説明を得ている。		